

## 2018 JUA/EAU Academic Exchange Programme 参加報告

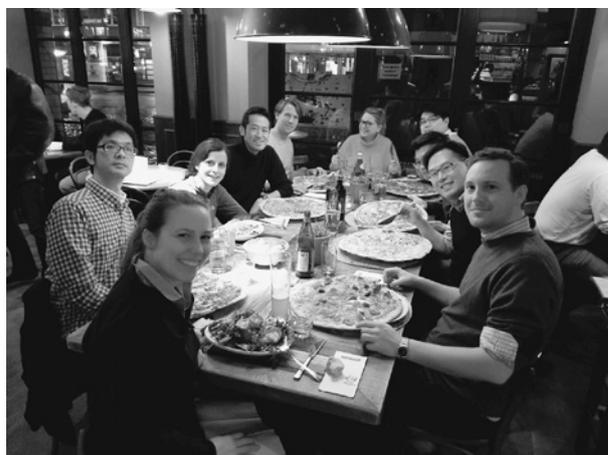
高 原 健 (藤田保健衛生大)

この度、2018年3月10日から3月20日まで、JUA/EAU Academic Exchange Programmeに参加致しましたので、報告させていただきます。

3月10日から13日までは、ドイツ・ハンブルクの Martini Klinik で研修させていただきました。Martini Klinik は前立腺癌手術の High volume center で、年間2,000例を超える RARP を施行しており、世界各国から症例が集まります。私は現在勤務先の藤田保健衛生大学で RARP を執刀させて頂いていることもあり、この世界トップの症例数を誇るクリニックの RARP 手技を見学させていただけることを非常に楽しみにしていました。実際に見学をさせて頂きましたが、まず驚いたことは、全例に両側神経温存を施行していることでした。前立腺遊離後、あらかじめ留置した GelPort から摘出し、術中迅速で断端の病理を確認し、margin (+) であればそのサイドの NVB を切除するという手技をされていました。非常に合理的な手術法だと思いました。Ope 自体は、前立腺摘出までが平均45分、術中迅速の間に膀胱尿道吻合、リンパ節郭清を施行する、といった流れでした。コンソール時間は迅速の待ち時間を含め、約120分でした。私は2例の RARP を見学させて頂きましたが、特に2例目は著明な BPH のある症例で、前立腺重量は160g でした。それでも手際よく、前立腺摘出までは40分しか要しておらず、全く迷いのない端然とした手術に非常に感銘を受けました。Martini Klinik での RARP 手術見学は私にとって非常に刺激になり、素晴らしい経験となりました。

3月14日から15日までは、スウェーデン・マルメの Skane University Hospital で、ミーティングや手術を見学させていただきました。前立腺癌、膀胱癌、腎癌、陰茎癌、尿路結石に関する最新の臨床知見を lecture して頂いただけでなく、1666年設立された Lund University, Skane University Hospital の歴史、スカンジナビア諸国の歴史・情勢など、様々な非常に興味深いお話を拝聴し、感銘を受けました。また15日には、advanced penile implants の live surgery を見学させて頂き、その手法、正確な手術手技に驚かされました。2日間ではありましたが、Skane University Hospital での研修は、今後日本で臨床・研究を継続していく上で、大変良い刺激となりました。

3月16日から20日までは、デンマーク・コペンハーゲンで開催されました2018 EAUに参加しました。Plenary session では、最新の知見を拝聴することができ、また oral, poster session ではたくさんの情報を入手することができました。非常に有意義な学会でした。中でも、



Prof. Tilki チームとの dinner



左から私、Prof. Bjartell、出嶋先生

18日に Copenhagen City Hall で開かれました EAU President's & International Friendship dinner では、壇上で会長から Exchange Programme 参加の盾を頂き、忘れられない一夜となりました。

病院見学以外でも、たくさんの方々の大変手厚い歓迎を受けました。ハンブルクでは、Prof. Tilki とメンバー達が、ハンブルク市内を案内してくれました。Hamburg Dungeon, Miniatur Wunderland, 素晴らしい lunch, Dinner... 常にドイツビールと共にありました。マルメでは Prof. Bjartell が中心となり、昼夜問わず大変心温まる歓迎をして頂きました。最終日、Prof. Bjartell 夫人も参加され、Arstiderna I Kockska Husset で dinner が開催されました。中世ヨーロッパの雰囲気が残るレストランで

の食事は、まさに映画的一幕のようであり、伝統的なスカンジナビア料理も素晴らしく、至福の時間を過ごさせて頂きました。またこの Exchange Programme には、九州大学・泌尿器科から出嶋 卓先生、台湾からも3名の先生が参加されました。ほぼ同世代ということもあり、非常に仲良く、素晴らしい時間を共有できました。感謝申し上げます。

この Programme での大変貴重な経験を活かし、今後、臨床・研究・教育に精進していきたいと思えます。最後になりましたが、今回の 2018 JUA/EAU Academic Exchange Programme に携わって頂きました全てのスタッフに心から御礼申し上げます。またこのような大変貴重な機会を与えて頂きました JUA および EAU の関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



2018 JUA/EAU Academic Exchange Programme  
メンバー

左から出嶋先生、私、Dr. Che-Yuan Hu, Dr. Tzu-Chun Wei, Dr. Yi-Huei Chang